

32年育てたクマが死にました 山形県鶴岡市の男の人が自分の子どものように大切にしていました

河北新報 やさしい日本語ニュース 2023年8月9日

1頭のクマが死にました。「クロちゃん」という名前です。佐藤八重治さん（80歳）が、32年も大切に育てたクマでした。

佐藤さんがクロちゃんと出会ったのは、1991年4月のことです。まだ雪が残っている山形県鶴岡市の山で見つけました。重さ2・5キロの子どものクマでした。人形のようにかわいい形をしていました。親が逃げたため、1頭だけになっていました。

それで、佐藤さんは連れて帰りました。そして、山形県の許可をもらって、育てることにしました。

クロちゃんの好きな食べ物は「そうめん」でした。違う物を食べさせたこともありました。でも、いろいろ研究して「そうめん」にしました。クロちゃんはいっぱい食べました。5、6人が食べる量を一度に食べました。

こうして、クロちゃんはどんどん大きくなって、重さは130キロになりました。クマはだいたい80キロくらいなので、クロちゃんは太っていました。

新聞やテレビもクロちゃんのことを紹介しました。それで、遠くからもたくさんの方が見に来ました。かわいいクロちゃんは人気があって、ファンクラ

ブもできました。

クロちゃんはとても^{げんき}元気でした。そのため、^{さとう}佐藤さんの^{うで}腕をかんで^{おお}大きいけがをさせてしまったこともありました。でも、^{ほんとう}本当は^{やさ}優しいクマでした。しかし、^{とし}年を取ってからは、^{からだ}だんだん^{じゆう}体が^{うご}自由に動かなくなりました。そして、2023^{ねん}年7月^{はじ}初めにクロちゃんは^し死んでしまいました。^{にんげん}人間だったら100^{さい}歳くらいでした。

^{さとう}佐藤さんは「クロちゃんが^{しあわ}幸せ^{しん}だったと信じたい」と^{はな}話しています。^{じぶん}自分も^{やま}持っている山にクロちゃんの^{はか}墓^{つく}を造りました。クロちゃんが^し死んだことを^{いま}今でも^{かな}悲しく^{おも}思っています。



「河北新報社提供」



やってみましょう

ぶんよ 文を読んで、ただ 正しいものに○、ただ 正しくないものに×を書か いてください。

- ① () こ 子どものクマは、だれ 誰でも じゆう 自由に そだ 育てることができます。
- ② () クロちゃんはたくさん た 食べて、ふつう 普通のクマより おも 重くなりました。
- ③ () クロちゃんは にんき 人気があったので、とおく 遠くから み 来 く 人も いました。
- ④ () クロちゃんは げんき 元気すぎて、さとう 佐藤さんは おお 大きいけがを した こともありましたが、ほんとう 本当は やさ 優しいクマでした。



書きましょう

さとう 佐藤さんが _____ ちゃんと _____ のは、1991年 ねん がつ 4月でした。

_____ けんつるおかし やま 県鶴岡市の山で _____ ました。 _____ ようにかわいい

_____ をしていました。それから _____ ねん さとう 年、佐藤さんは自分の _____

のように _____ に _____ ました。



話しましょう

1. クロちゃんのことを き 聞いたことがありますか。ニュースを よ 読んで どう おも 思いましたか。
2. あなたには、どんな どうぶつ 動物との おも 思い出 (かわいかった、こわ 怖かったなど、こころ 心に残って いて おも 思い出 すること) がありますか。